

会計区分	14年度当初予算額	13年度当初予算額	増 減
一般会計	221億8,261万2千円	221億8,031万9千円	229万3千円
国民健康保険	56億7,961万5千円	55億4,957万9千円	1億3,003万6千円
介護保険			
保険事業勘定	33億2,595万7千円	31億9,804万4千円	1億2,791万3千円
サービス勘定	6億4,580万1千円	5億3,868万4千円	1億711万7千円
老人保健	65億7,589万4千円	63億9,532万9千円	1億8,056万5千円
温泉開発	1,810万5千円	1,611万8千円	198万7千円
奨学資金	3,070万8千円	3,287万1千円	△216万3千円
卸売市場	4,989万2千円	2,419万3千円	2,569万9千円
土地取得	1,268万3千円	1,306万6千円	△38万3千円
都市計画	8億9,191万9千円	9億9,245万2千円	△1億53万3千円
下水道	16億3,740万7千円	18億4,811万2千円	△2億1,070万5千円
農業集落排水	2億6,340万8千円	7億1,210万3千円	△4億4,869万5千円
公営駐車場	4,841万8千円	4,974万4千円	△132万6千円
急患センター	4,468万6千円	4,528万7千円	△60万1千円
小計	192億2,449万3千円	194億1,558万2千円	△1億9,108万9千円
財産区			
上川沿	81万円	65万2千円	15万8千円
下川沿	6万7千円	7万8千円	△1万1千円
片山	1,429万4千円	9,162万6千円	△7,733万2千円
川口	98万7千円	149万円	△50万3千円
餅田	66万1千円	188万6千円	△122万5千円
立花	179万8千円	296万2千円	△116万4千円
小計	1,861万7千円	9,869万4千円	△8,007万7千円
計	192億4,311万円	195億1,427万6千円	△2億7,116万6千円
企業会計			
病院	75億8,305万8千円	78億4,285万5千円	△2億5,979万7千円
水道	20億3,341万6千円	21億2,944万円	△9,602万4千円
工業用水道	4,588万7千円	1億148万6千円	△5,559万9千円
計	96億6,236万1千円	100億7,378万1千円	△4億1,142万円
合計	510億8,808万3千円	517億6,837万6千円	△6億8,029万3千円

一般会計

歳入

財源の根幹をなす市税では、固定資産税はほぼ前年並みを確保したものの、法人及び個人の市民税の落ち込みが大きくなり、前年に比べ2億4,800万円の減となりました。また、国が地方交付税の配分方式の見直しを行っておりますが、大館市分は前年に比べ1億900万円の減が見込まれています。なお、昨年に引き続き財源不足に相当する分として臨時財政対策債の7億3,000万円を措置しています。

歳出

今年度は市民生活基盤の充実を図る一方、平成19年国体に向けた施設整備、学校の改築整備、道路・街路整備事業など将来を見据えた事業に対しても計画的に対処しました。

このため、投資的経費（建設事業など社会資本として将来に残るものへの整備費用）は38億7,907万8千円で、前年度に比べ4億3,256万2千円の増と大きく伸びました。これは、城西小学校改築事業や国体関連施設整備事業、街路事業など昨年度に着手したものが今年度から本格的に着手することによって予算が増加したものです。

